

第 137 回 科学技術部会	参考資料2-3
令和 5 年 12 月 7 日	

令和 6 年度厚生労働科学研究に関する意見募集の結果について

令和 5 年 10 月 20 日
 厚生労働省
 大臣官房厚生科学課

令和 6 年度厚生労働科学研究について、令和 5 年 8 月 4 日（金）から同年 9 月 4 日（月）まで御意見を募集したところ、1 件の御意見をいただきました。

お寄せいただいた御意見とそれに対する考え方について、以下のとおり取りまとめましたので、公表いたします。

皆様の御協力に深く御礼申し上げますとともに、今後とも厚生労働行政の推進に御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

No.	案に対する御意見	御意見に対する厚生労働省の考え方
1	<p>長寿科学政策研究事業：</p> <p>介護の科学的エビデンスを求めていく方針、方向に賛成いたします。一方、医療と介護との分断を現場において感じる事が多くあります。医療情報が介護現場では不足しており、EBM に基づくための情報を得る仕組みと人材育成を進める必要があると考えます。また、医療と介護をつなぐことが可能な専門性を持ち、双方で役割を果たすことができるリハビリテーション職種の活用が不十分に思います。</p> <p>作業療法士、言語聴覚士の位置づけの明確化や待遇の適正化、連携システムの構築が喫緊の課題であると考えます。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>

※上記のほか、3件の今回の意見募集に関係ない御意見をいただきました。行政施策に関するご意見等については、省内関係課室へ情報提供し、今後の施策立案の参考とします。